

「わたしもできるかも!」集まったエコを大公開!

第8回 ぬまづ エコ活動 コンテスト 2017



目次

3 | ぬまづエコ活動コンテストって? 投票方法

4 | まちのエコ (地域部門)

コラム 知っていますか? 「ダンボールコンポスト」

コラム LEDの特徴は? あかりの種類の比較

8 | こどものエコ (小中学校・幼稚園・保育園部門)

コラム アース・キッズ/夏休み親子エコ教室

10 | おうちのエコ (個人・家庭部門)

コラム 地球温暖化について

12 | みんなのエコ (団体部門)

コラム エコドライブ/市民エコプロジェクト支援制度

14 | みどりのカーテンフォト (写真部門)

コラム 緑のカーテンのいいこと

16 | 沼津市の取り組み

18 | 足もことから始めよう

ぬまづエコ活動コンテストとは?

「わたしはこれ!」各部門から選ばれた作品に投票しよう!

市民一人ひとりが身の丈にあった身近なエコ活動に取り組む「エコのまち沼津」を推進するためのイベントとして、「ぬまづエコ活動コンテスト」を平成22年度より開催しています。

今回は集まった5部門合計70作品のうち、一次審査を経て決まった17作品を対象とし、皆様の投票で各部門のNo1を決めます。

「地球温暖化対策」、「ポイ捨てごみをなくす」、「まちの自然を守る」など、様々な作品が集まりました。一つひとつが「エコのまち沼津」につながる貴重な活動です。



応募総数は32チーム! (みどりのカーテンフォトは38作品)。
部門ごとに選抜された上位チームに投票して、No1を決定しよう!

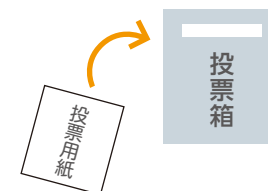
投票方法

① 冊子を読んで、部門ごとの投票対象からお気に入りを1つずつ選ぼう! (全5部門)

(※投票対象は、応募された全チームの中から内部選考により選出された活動です)

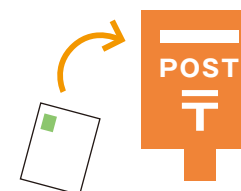
② 好きな方法で投票しよう!

A 投票箱へ投票する



沼津市役所7F環境政策課と、各地区センター窓口に設置された投票用紙に記入して、投票箱へ投票してください。

B はがきで投票する



裏表紙の投票用紙(コピー可)を貼り付けて、沼津市役所環境政策課まで郵送してください。

C インターネットで投票 (投票システム)



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/sform.do?id=1508734231294>
上記URL、QRコードにアクセスして投票してください。

D facebookで投票



<https://www.facebook.com/econumazu>
Facebookアカウントをお持ちの方は、上記アドレスからも投票できます。

投票〆切 ▶ 平成29年12月25日(月)まで!

地域で取り組む
エコ活動！
「私も参加しよう」で
広がるエコの輪。

まの エコ 地域部門

自治会や地域のコミュニティによる活動を紹介します。
応募総数13チームから選ばれた3チームの
うち、好きなチームに投票しよう！

エントリー 1

千本松原を いつもきれいに

千本エリア
「千本 松原」



富士山の世界文化遺産登録もあり、従来より各自治会で活動しており、千本松原、海岸の清掃を環境エコ活動として、千本地区全体の取り組みの推進を図っています。

今年は、千本海岸の清掃にラブライブ！サンシャイン！！のサポーターの参加もあり、盛り上がりしました。さらに、町内の河川、緑道などの清掃も組み入れています。各自治会の清掃は年に数回を個々に行っており、連合自治会全体の松林内の清掃と海岸の一斉清掃など、子どもを含めた家族ぐるみの参加を呼び掛けています。

エントリー 2

豊かな町 豊かな心を作る 豊町

金岡エリア
「グリーン×グリーン」



豊町エコ活動も7年目に入りました。当初小学校5・6年生が身近な自然を残したいと始めた松沢川雨水貯留池周辺での自然観察を兼ねた「清掃パトロール」、「カワニナの定期的放流」、「はたる観察会」などを継続しながら、公園花壇を子ども達との学びの場にする取り組みを始めて3年目となりました。昨年度後期はジャガイモに続いて大根を植え、これをおでんにして子ども達とみずみずしいやわらかさに驚きながら味わいました。

今年度からは、自治会に新発足した公園プロジェクトとこの部分を連携して進めております。活動を継続してきて、活動ニュースを回覧しアピール・勧誘しても大人の参加が増えないこと、子ども達の参加が減っていることが悩ましいですが、反面、中学・高校と進学しても参加してくれる生徒もあり、心強いです。今後も感動を体験できる活動をしていきたいと考えております。

エントリー 3

愛鷹地区グリーンカーテン 展開作戦(その6)

愛鷹エリア
愛鷹地区コミュニティー
推進委員会 エコ推進部会



グリーンカーテン用苗を育苗・配布し、コンテストを実施しています。今年も地域の自治会内の各家庭でグリーンカーテンに広く取り組んでもらいました。

朝顔やヘチマ、ふじ豆など6種類のグリーンカーテン用の種まき約3,600個、育苗約2,000株、そのうち1,770株を無料(一部は有料)配布しました。愛鷹地区内でのグリーンカーテンコンテスト継続して実施しており、今年もコミュニティ祭で全応募作品を展示する予定です。

また、地区センターに全長約42m幅のグリーンカーテンを設置した他、鷹の子農園(愛鷹小学校の農園)にも全長約40m幅のグリーンカーテンを設置しました。費用を抑えるため苗を種から育苗しましたが、全員素人で水やりや温度管理(トンネルの開閉)などに大変苦労しました。



残念ながら投票対象とはなりませんでしたが、その他の応募作品も力のこもった活動ばかりです。こちらのページではそのすべてを、紹介します(投票は行うことができませんのでご注意ください)。



段ボール・古紙の回収



戸田エリア「沼津市立戸田中学校」

もともとは、古紙回収の収益を部活動の活動費にあてるため、開始した取り組みで、学校で不要となった段ボールや古紙に加え、地域の方にも持ち込みをお願いしています。

現在は、毎日のように地域の方が運び入れてくださり、3〜4か月で集積場所がいっぱいになる状況です。地域の方からは、「いつも、協力しているよ」や「段ボールがいっぱいに入らないから入口においたよ」と声をかけていただき、中には、軽トラックで多量に運び入れてくださる方もおり、今では、戸田地域の「段ボール・古紙回収の施設」として、なくてはならない場所となっています。

段ボールや古紙の崩れを直したり、入口付近に置かれた段ボールや古紙の積み直し作業の負担を軽減することが今後の課題です。

この取り組みは、戸田地区全体の資源の分別意識の向上にも役立ち、練習試合の費用負担が大きい部活動の支援に寄与しています。地域にとっても、学校にとっても「WIN-WIN」である持続可能型エコ活動となっています。

機材の購入に助成資金の活用



戸田エリア「美浜クラブ」

活動メンバーの高齢化や不足などで、草刈り機やチェーンソーなどは会員の持込に頼っているのが現状です。機械化を進めたくても、草刈り機やチェーンソーなどは高額でコミュニティの予算だけでは、なかなか購入できず、環境保全のための企業の助成資金を受け、資機材を購入しました。作業が楽でしかも早くできるようになりました。

松の植樹に腐養土の利用



戸田エリア「美浜クラブ」

毎年3月に小学校卒業記念の松の植樹の手伝いをしています。御浜岬は砂地でそのまま植樹しても根付かないため、山の土を入れていますが、今年は土の提供がなく苦労しました。そこで、山の県道脇の腐養土などを袋に入れて運び、試しに使ってみました。

コラム

知っていますか？ 「ダンボールコンポスト」



生ごみには、水分が多く含まれており、燃やせるごみの量増加につながります。また、焼却処理にも多くの燃料が必要となります。「ダンボールコンポスト」はダンボール箱を使って生ごみを堆肥に変える各家庭での生ごみ処理方法の1つです。ごみの減量化につながるとともに、すべてを土に還す自然のサイクルとなります。生ごみの分解が終わった土を熟成させることでできた堆肥は、家庭菜園等でご利用いただけます。

街灯のLED化による電気代の節約



戸田エリア「入浜自治会」

入浜自治会内では、6、7年前から徐々に外灯のLED化を図ってきました。平成29年8月4日現在で、全外灯56本のうち、LED外灯は32本と普及率は57%です。外灯の電気代は、平成28年は2年前に比べ25%節約できました。設置料金も10～15年で元がとれ、ごみの減量化、そして電気代と二酸化炭素の削減になります。

ごみ箆を置いて調査



戸田エリア「環美・富士の山」

御浜岬の清掃活動を年間6回、他の団体の方などに行っていますが、御浜岬南駐車場下には捨てた後もすぐにゴミが捨てられています。ガラスビンなども捨てられ、粉々に割れている上、足元は岩場で拾うのも危険です。そこで、ごみ箆を置いて調査してみました。初めは直径30cm×高さ40cmの小さめのものを4個置きましたが、あまり効果はなく、次に直径60cm×深さ90cmのごみ箆を2個追加しました。すると効果があり、平成29年2月～5月までで45L袋で28袋分を集まりました。しかし、それでもなお、ゴミを捨てる人がいます。「我々は、観光地である以上、ごみの持ち帰りを基本にしながらも公園とか山間県道にはゴミ箱を置かなければマナー頼みでは一向に解決しない」と主張します。

防犯灯のLED化



第四エリア「黒瀬町LED」

防犯灯の電灯料金は自治会負担です。また、蛍光灯の交換費用も当然自治会負担です。当町内では、少しでも自治会負担を減らそうと沼津市から1灯につき2万円の補助金を受け、昨年までに年に2灯のペースで計10灯をLED防犯灯に替えました。LED防犯灯に替えて確実に言えることは月々の電灯料金が下がったということです。公衆街路灯の電灯料金は1灯あたり、蛍光灯時の半額以下になります。当町内では残り5灯も早くLED防犯灯に交換し、自治会の負担を減らして尚且つ「エコのまち沼津」に少しでも貢献したいと考えております。

子持川清掃活動



第一エリア「第一地区」

毎年、子持川に接する4町内合同(西条町、白銀町、真砂町、末広町)にて年2回子持川の清掃活動をしています。各町内の方々が約100名ぐらい集まり、ブロック堤のすき間から生えている雑草を一草ずつ丁寧に刈取り、または手でむしり取って子持川的美観を保っています。

「ジョギング中にゴミ拾い」を推進したい



戸田エリア「戸田のエコリーダー」

御浜岬公園では、健康のためジョギングや犬の散歩をしている地元の人や観光客がいます。その中で散歩をしながら気がついたゴミをゴミ袋に入れて歩いている人がおり、こうした活動をしている人は他の地区でもいるのではないかと思います。こうした活動が沼津28地区に受け入れられ、広がってほしいと考え、指定のゴミ袋を付けたゴミ箱を置いて人が道などにゴミを捨てないよう啓発しています。

くるら戸田の温泉利用でガス代節約



戸田エリア「戸田のエコリーダー」

戸田地区限定になってしまいましたが、道の駅くるら戸田の中の温泉施設の利用料金は他と比べても安いとのことで、こうした地元の資源を活用しています。

愛鷹地区 生ゴミゼロ化を目指して



愛鷹エリア「愛鷹地区コミュニティー推進委員会 エコ推進部会」

沼津市の燃やすごみは生ごみの比率が高く、焼却に燃料が必要など、焼却設備の負担になっています。なんとか生ごみを減らせないと考え、ダンボールコンポストの有効性と問題点を実際に製作・試用して把握することにし、平成27年度から挑戦してきました。今年度は新しいメンバー14名が6月に容器を作成し、試用をはじめました。年末頃まで試用し、有効性が確認できれば、各自治会内に広める活動をする予定です。

コラム

LEDの特徴は？ あかりの種類の比較



電球型LEDと電球型蛍光ランプ、一般電球の三者による二酸化炭素排出量、電気代、寿命の比較では、いずれも電球型LEDが優位となっています。

出典)省エネ交換ナビゲーション「しんきゅうさん」・住まいの照明省エネBOOK2014年度版
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より

沿津のため、地球のため、活動中！
ぼくもわたしも

こどものエコ

小中学校・幼稚園・保育園部門

市内小中学校、幼稚園、保育園の子ども達の取り組みを紹介します。
応募総数7チームから選ばれた3チームのうち、好きなチームに投票しよう！

エントリー 1

広げようエコの輪

金岡エリア
「スマイルアース」



普段多くが捨てられているペットボトルのキャップを集めることで、活動の目的やエコ活動を少しでも身近に感じてもらおうと同時に普段各家庭で消費しているペットボトルの量を見直してもらうよい機会になるのではないかと思います、この活動を実施しました。
「人のために何かできることがうれしかった」や「我が家ではあまり消費されていないと思っていたペットボトルですが、2ヶ月で86本も消費されていることがわかり正直ビックリしました」などの声が聞かれました。
キャップ800個で1人分のワクチンという気の遠くなるような活動ですが、83名が協力して集めることで、2ヶ月間で45Lの袋2.5袋分を集めることができました。こちらは、普段からエコキャップ運動に力を入れている金岡中学校の皆さんに引き取っていただきました。
この活動をきっかけにこれから各家庭でもエコに対する意識につながって小さな活動の輪が少しでも広がっていったらと思います。

エントリー 2

ぬり絵でエコを広げよう！

金岡エリア
「新沢田町子ども会」



「ぬり絵をしたり、自分で考えたエコ活動を書くことで、身近な行動の違いがエコ活動につながることに気づくこと」、「自分達の描いたぬり絵をよく見る所に掲示することで、日々の生活の中にエコ活動の意識づけをすること」をねらいに、
①ぬり絵を作り、配布、各家庭にて絵に様々な画材で思い思いの色をぬる。
②各施設への張り出しをお願いし、施設利用者様にも町内の活動を知ってもらう。
③各家庭では、ぬり絵を枠で切り取り、冷蔵庫やよく見る場所に張り、自分たちで考えたエコ活動を心がけてもらう。
という活動をしました。ぬり絵は、各学年に応じて3種類を用意し半分のスペースは自分でできそうなエコ活動を書きました。「冷蔵庫をちゃんと閉める」、「使えるものは最後まで使う」など様々な活動を考え、子ども達がエコ活動についてきちんと向き合っている様子が見られ、楽しみながら身の丈にあった活動への意識づけができたと思います。

エントリー 3

エコ新聞

金岡エリア
「神田町子ども会」



町内のお祭りで出るごみを地域で協力して分別、回収できることを目的として手づくりのごみ箱を作りました。
子ども達の手作りということで、ごみ分別に対する意識を深めてもらえたらと思います。それらのことをお祭りの当日の様子も含め、新聞としてまとめました。



残念ながら投票対象とはなりませんでした、その他の応募作品も力のこもった活動ばかりです。こちらのページではそのすべてを、紹介します(投票は行うことができませんのでご注意ください)。



1日ひとつのエコ活動に取り組もう



金岡エリア
「寿町子ども会」

夏休みの間、1日ひとつそれぞれの家庭でできるエコ活動に取り組みました。ごみの分別、マイバック持参、節電、緑のカーテン、ペットボトルのキャップ集め、残さずご飯を食べるなど、どんなことでもできることを楽しみながら行い、エコ活動をこれからも続けていきたいと思っています。

歩道橋清掃



金岡エリア
「江原町子ども会」

毎年伝統になっていて、月に1回朝2ヶ所の歩道橋の掃除をしています。主にタバコの吸殻が多く、ペットボトルや缶などもあります。毎月掃除をしているせいか段々ごみが減ってきています。これからもこの活動を続けて大切に歩道橋を使っていきたいです。

長塚の文化財の未来の為に！ エコキャップで世界の子供達にワクチンを！



金岡エリア
「長塚町子ども会」

文化財である長塚古墳を子ども会、自治会の方々と協力し、長塚町古墳清掃をしました。普段から町内の皆様により、文化財として大切にしているからなのかごみはほとんどありませんでしたが、今後も歴史を子ども達に伝えながら活動していきたいと思っています。またエコキャップ回収運動では、7月と8月の資源ごみ回収日に町内2ヶ所にエコキャップを入れる「バケツ」を設置しました。自治会や子ども会の方々の協力により、2日間という短期間で、ワクチン5人分のキャップを集める事ができました。町内のエコに対する意気込みが感じられ、今後も継続していきたいと思っています。

牛乳パックでよみがえる リサイクルエコはがき(しおり)



金岡エリア
「ウイステイリア
沢田町子ども会」

今年は子ども達にお金をかけず楽しく工作しながらエコ活動に取り組んでもらいたいと思ったことがきっかけで、どこの家庭からも出る牛乳パックで「手すきはがき」を作ることにしました。一番苦労したのは、牛乳パックの裏、裏のポリエチレンフィルムを剥がしていく作業です。子ども達は小さな手で丁寧に剥がし、水を加えながらミキサーにかけ、できたパルプ液を型に流す作業を繰り返していきます。最後に水気を十分に絞り、天日干しした後で、ドライヤーまたはアイロンで乾かして完成です。すき方により、ムラができてしまいましたが、それでも個性があり、味わい深いものができました。がんばった子ども達は、「牛乳パックではがきやしおりができることを初めて知った。すごく勉強になった。また作ってみたい」と、とても喜んでいました。

コラム

アース・キッズ



小学校高学年を対象に子どもたちがリーダーとなり、家庭で省エネ活動等に取り組むプログラムです。学校や行政が連携・協力し、総合的な学習の時間などを利用して「地球温暖化防止のために自分たちは何ができるのか？」を一人ひとりが考え、家族の環境リーダーとして活躍してもらうことを目的としています。

夏休み親子エコ教室



〈夏休みの特別な体験〉

小中学生とその保護者を対象に、環境に配慮した活動をしている企業を見学し、リサイクルや省エネ・省資源の工夫など環境への取り組みについて学びます。
平成29年8月10日、市内の小中学生16人と保護者13人計29人が参加し、(株)ヤクルト本社富士裾野工場と富士通(株)沼津工場を見学しました。(株)ヤクルト本社富士裾野工場では、馴染みのある製品の製造工程の見学をし、会社で取り組んでいる排水処理の仕方やリサイクル方法など学びました。富士通(株)沼津工場では、タブレットを使用した環境講座と手作りマンガン電池の工作を行いました。

エントリー
1

自分でしている
エコ活動

戸田エリア

3.11の地震から電気の使用を自分達でこまめに節約しようと家族で話し合いました。我が家では、「ケトルの湯沸しからやかんで沸かしお湯を保温のエアポットに」、「お風呂に入るときにお湯を入れたらシャワーは使用しない」、「電気はこまめに消す」、「トイレの便座は便座シートを使用し、夏場は温め機能の電気をOFFにする」を実践しています。

エントリー
2

ダンボールコンポストを実施して3年目

戸田エリア

ダンボールコンポストを始めて3年経ちました。できた肥料は動物に掘り起こされて困りながらも野菜の周りにまいています。1日平均で100~200g入れて1年経ってもダンボールの中の体積が増えていないのが不思議です。ダンボールコンポストで生ごみは殆ど自前で処理しています。

エントリー
3

緑の楽園

第五エリア

今年は緑のカーテンの設置場所を4ヶ所に増やしました。いつもの自宅南側にゴーヤ、フウセンカズラ、カボチャを植えて更に普段生活する居間の前を二重カーテンにし、おかげで猛暑の今年の夏、エアコンの使用は数回で済み大助かりでした。新設①の西側窓には孫が育てているヘチマやゴーヤを植えて目隠しカーテンやエコに活用。新設②の家庭菜園の西側のフェンスにはゴーヤを植え、西日対策と散水の回数を少なくしました。新設③の台所北側にはフウセンカズラを植え、目隠しカーテンや緑の風景を楽しみました。フウセンカズラの種はこれから行う地域イベントに小分けして無料配布する予定です。

残念ながら投票対象とはなりませんでした、その他の応募作品も力のこもった活動ばかりです。こちらのページではそのすべてを、紹介します(投票は行うことができませんのでご注意ください)。

我が家の節電目標3,000円台

戸田エリア

我が家では以前から「便座の温度は低めに設定」、「パソコンを使わないときは電源を消す」、「冷蔵庫は低めの温度で、出し入れはまとめて一度で済ます」、「防犯に注意して夜も網戸にする」、「外出時の電源(コンセントを抜いたか)はチェックシートでチェックする」を実践しています。今年は「自分のいるところ以外の照明は消す」、「電気ポットは電気ケトルに替える」を実践しており、今後は蛍光灯をLEDに替え、更なる電気料金削減を目指します。

廃ローソクの再利用(迎え火ローソク)

戸田エリア

ローソクの最後に残った部分は捨てていましたが、再利用することを考えました。年間20~30本の短くなったローソク、さらには細くなったローソクを利用し、オリジナルのローソクを作りました。ローソクを溶かして型に流し込み、色をつけた後芯を入れて完成です。お盆には迎え火を焚くので、それに合わせ境内に灯りを灯し、参拝者の心を和ませています。

わが家のエコ活動

戸田エリア

「食材調理の際、生ごみを出さないよう工夫する」、「買い物でマイバッグを持ち歩く」、「近所の買い物は自転車使用」、「クーラーをなるべく付けずに自然の風を入れる」、「冷蔵庫の開閉は短時間でまとめて行う」といった活動を行っています。家族で楽しく環境に優しい行動を取ることを心掛けています。

沢山作った手作りバッグ

第四エリア

手作りバッグを買い物へ行く時に持っていき、ビニール袋を節約して地球にやさしいエコ活動を続けています。手作りバッグは作るのが大変ですが、自分のオリジナルの物なので買い物に行く足取りも軽くなります。

コラム

地球温暖化について

地球温暖化は、人間の活動が活発になるにつれて「温室効果ガス」が大気中に大量に放出され、地球全体の平均気温が急激に上がり始めている現象のことをいいます。温室効果ガスには二酸化炭素、メタン、フロンなどがありますが、日本において排出される温室効果ガスの9割以上は二酸化炭素です。温室効果ガスの濃度上昇によって、2100年に図のような影響が日本国内での発生すると予測されています。

日本への影響は?		
2100年末に予測される日本への影響予測 (温室効果ガス濃度上昇の最悪ケース RCP8.5、1981-2000年との比較)		
気候	気温	3.5~6.4℃上昇
	降水量	9~16%増加
	海面	60~63cm 上昇
災害	洪水	年被害額が3倍程度に拡大
	砂浜	83~85%消失
	干涸	12%消失
水資源	河川流量	1.1~1.2 倍に増加
	水質	クロロフィルaの増加による水質悪化
生態系	ハイマツ	生育可能な地域の消失~現在の7%に減少
	ブナ	生育可能な地域が現在の10~53%に減少
食糧	コメ	収量に大きな変化はないが、品質低下リスクが増大
	うんしゅうみかん	作付適地がなくなる
健康	タンカン	作付適地が国土の1%から13~34%に増加
	熱中症	死者、救急搬送者数が2倍以上に増加
	ヒトスジシマカ	分布域が国土の約4割から75~96%に拡大

出典)環境省 環境研究総合推進費 S-8 2014年報告書
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)より

みんなできり組む
エコ活動、形は
違えど「環境のため」
思いは同じ！

みんなの エコ 団体部門

高校生以上、職場やNPOなどの団体による
取り組みを紹介します。
応募総数5チームから選ばれた3チームの
うち、好きなチームに投票しよう！

エントリー 1

廃食油から せっけん作り

戸田エリア
「戸田せっけんの会
ラ・メール」



環境とリサイクル、安心して使えるせっけん作りの活動をしています。平成8年より、「戸田の海や川を汚さない」の思いから下水に油を流さないよう食用廃油でせっけんを作っています。廃食油を集めて粉せっけん、固形せっけんにし、洗濯や手洗いに再利用。肌にやさしく汚れがよく落ちる環境によいせっけんです。粉せっけん、固形せっけん共に規格に適合し販売の他、イベントへの参加や幼稚園への出前講座など啓蒙活動をしています。平成15年より、アフリカ難民支援として環境に害のないせっけんを送っています。また、リサイクルとして集めた衣類も一緒に送っています。

エントリー 2

鑑賞会を目的に 生息調査と環境整備

戸田エリア
「戸田ホタルの会」



戸田ホタルの会は発足して3年目になりますが、去年は地元の人だけでホタルの鑑賞会を開きました。今年は、6月17日に第4回静岡県ほたるサミット2017沼津大会の鑑賞会が戸田の会場で行われ、前もって50人の地元の人で予行演習の鑑賞会を開きました。戸田のホタルは他との交わりがない特有のホタルであり、その系統とホタルが生息できる環境作りのため、「ホタルに適した水、草、土を育て、餌であるカワナを保護する」ことを再確認しました。田んぼや堀でホタルが見られるのは、戸田はまだ、ホタルが棲める自然環境である証です。

エントリー 3

花いっぱい運動

戸田エリア
「戸田花の会」



花を育てるのが大好きな仲間です。種まきから始めて、1年を通して苗を育てています。地区センター道の駅くまの戸田玄関前、中央橋前、御浜岬入口前などに苗を入れ替えては水やりして、年間を通してきれいな花を咲かせます。



残念ながら投票対象とはなりませんが、その他の応募作品も力のこもった活動ばかりです。こちらのページではそのすべてを、紹介します(投票は行うことができませんのでご注意ください)。



港まつりの日に啓発と一緒にごみ拾い



戸田エリア「環美・富士の山」

毎年、港まつり会場で啓発活動を行っています。会場には2,000人くらい集まるので、幟旗を立て、ティッシュなどを配ってごみのポイ捨て禁止を呼び掛けています。今年も会場内に落ちていたごみ拾いをし、45Lのごみ袋3分の2程のごみを拾いました。会場は海に面しており、風でゴミが飛んで海に流れることもあるため、海洋に流れるプラスチックゴミによる弊害を危惧しています。

空カン利用の風車



戸田エリア「くるらの家」

空き缶は、資源として鉄やアルミの原料となっていますが、この中で特に缶ビールの350ml缶に着目し、再度製品として使用することを考えました。縦に切って羽根状にし、針金を芯としてクルクルと回る風車にしたのです。玄関先や畑などに使ってみてはどうでしょうか。

コラム



エコドライブ

日常の運転に以下のことを取り入れることで、二酸化炭素排出量低減による環境負荷軽減だけでなく、燃料コストダウンによる経費節減や交通事故を未然に防ぐことにもつながります。

- ① ふんわりアクセル「eスタート」
- ② 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ③ 減速時は早めにアクセルを離そう
- ④ エアコンの使用は適切に
- ⑤ ムダなアイドリングはやめよう
- ⑥ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ⑦ タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑧ 不要な荷物はおろそう
- ⑨ 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- ⑩ 自分の燃費を把握しよう

市民エコプロジェクト支援制度

市民の皆様が進める環境保全活動を支援する制度です。活動紹介や助言を行う「登録部門」と、活動の補助金を交付する「補助金交付部門」の2部門からなり、皆さんの独創的なアイデアのサポートを行います。

- 登録部門** 市ホームページ等での活動紹介や活動への助言などを行います。
- 補助金交付部門** 活動に対し10万円を上限に活動費の全部または一部を補助します。

平成27年度から始まったこの事業はこれまでに

- 登録部門** ハマヒルガオを育てる会 ハマヒルガオを育てる会
- 補助金交付部門**
 - ①「ホタルの飛び交う環境の再生・保全活動」戸田ホタルの会
 - ②「N・B未来ハッピー富士山エコ・プロジェクト」NPO法人戸田塩の会
 - ③「花いっぱい運動」フラワースクール沼津
 - ④「門池からの水路・川の美化活動の継続とエコツアー・エコセミナー」エコと地域社会
 - ⑤ソーラーシェアリングの学習と体験 NPO法人太陽光発電所ネットワーク沼津地区交流会
 - ⑥浮島の湧水文化を守り活用する活動 NPO法人浮島沼自然・里づくりの会
 - ⑦スポーツGOMI拾い大会IN沼津御用邸記念公園海岸 エコネット沼津以上の活動をサポートしました。

省エネ夏の風物詩！
日光をさえぎり
地球の未来を照らす
植物のカーテン

みどりのカーテンフォト写真部門

夏場に省エネ効果を発揮！「緑のカーテン」の写真が38点集まりました！
選ばれた上位5作品から、お気に入り1つを選んで投票しよう！

エントリー 1



朝顔・風船かぶら・ゴーヤ。
伸びてくるにしたがって重く、下がってくるので竹を使ってしっかりと枠を家族に作ってもらいました。ここ10年以上みどりのカーテンをしています。今年は台風の影響がなかったので順調に伸びほっとしました。(台風の影響で潮風が吹き葉が若いうちから、黄色くなった年もありました。)

エントリー 2



毎年育てていたがなかなか育たず、毎日子どもたちと「今日はどうかね」、「大きくなーれ」とお部屋の中からつるの伸び具合を確認。子ども達の見守りがゴーヤに伝わったのか今年は大成功。実ったゴーヤはてんぷらやサラダに、給食でも楽しみました。

エントリー 3



風船かぶら、琉球朝顔。
植え付け面積が広いので、水やり・草取りと管理が容易ではなく、水やりについては、自動散水器を導入しました。

エントリー 4



暑い夏、保育室南側花壇にゴーヤの苗を植えてゴーヤの日よけカーテンになればと思いました。児達が毎日、小さなじょうろにお水を入れて、水やりをしました。そのおかげで、今年の夏もゴーヤはすくすく育ち2階にまで届きました。沢山遊んで汗をかけた後は、このゴーヤの蔭で涼み、冷たいお茶を飲んでまた、元気に遊びます。

エントリー 5



ゴーヤ・宇宙いも。
取り壊し自在な花壇を作り、新しい土で栽培しました。エコPRの看板も付けました。宇宙いもは蔓植物でジャガイモのような実を付け、味はとろろ芋です。

コラム

緑のカーテンのいいこと



いまや夏の風物詩ともなった緑のカーテン。その効果は侮れません。葉が十分に茂った緑のカーテンは日光をさえぎり、熱の原因となる赤外線の多くを反射し、その効果はよはずりも優れていると言われています。エアコンを使う場合は、フィルターを掃除し、室外機にも直射日光が当たらないようにすることで省エネ効果がアップします。



残念ながら投票対象とはなりませんでしたが、その他の応募作品も力のこもった活動ばかりです。こちらのページではそのすべてを、紹介します(投票は行うことができませんのでご注意ください)。



目指せ！
子どもも大人も
みんなで地球環境を
守るまち！

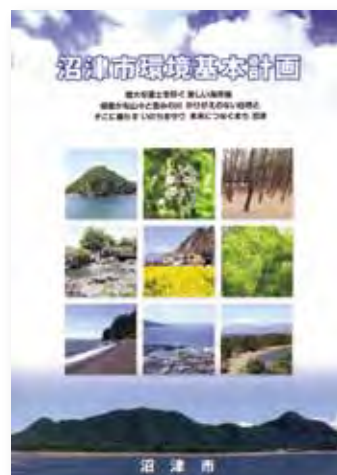
沼津市の取り組み

かけがえない自然とそこに暮らすいのちを守り
未来につなぐため、沼津市が進める環境行政を
紹介します。

沼津市環境基本計画

地球温暖化をはじめとする環境問題が深刻化している中、本市は低炭素社会や循環型社会及び自然共生社会の実現を目指し、市民、事業者、市が一体となって取り組みを進めていく上での指針となる「沼津市環境基本計画」を策定し、平成23年から施行、平成27年には、中間見直しを行いました。

本市の自然的・社会的・歴史的条件を考慮し、環境の保全に関する取り組みを総合的かつ計画的に進めていきます。



沼津市環境基本計画

市職員を講師で派遣！出前講座

市民の学習機会の拡大と市政への理解を目的に、市民のみなさんの学習活動をお手伝いします。生活環境部では環境保全やごみ問題などに関する講座を行っています。



地球環境 ～今私たちができること～

地球温暖化など環境問題の解決に向けて私たち一人ひとりができることを学びます。

身近な環境について(環境政策課)

大気・水質・騒音・ダイオキシン類など身近な環境問題について学びます。

沼津市の環境への取り組みについて(環境政策課)

沼津市環境基本計画を中心に、市の環境保全に関する取り組みについて学びます。

廃棄物処理施設の現状と課題(ごみ対策推進課)

市廃棄物処理施設の現状と今後の施設更新や課題等について学びます。

みんなで考える“ごみと私たち”(ごみ対策推進課)

「ごみの現状」と(発生量・処理方法)について、また分別ゲームを通して3R「ごみの発生抑制、再使用、リサイクル」について学びます。

「プラスチック製容器包装」について(ごみ対策推進課)

「プラスチック製容器包装」のリサイクルの仕組み、リサイクルの方法、分別時のポイントについて学びます。

作ってみよう ダンボールコンポスト(生ごみの減量・堆肥化)(ごみ対策推進課)

家庭から出る生ごみをダンボール箱に入れ、その中で減量・堆肥化を行う「ダンボールコンポスト」の作成から活用までを学びます。

沼津市新エネルギー及び省エネルギー機器設置費及び省エネリフォーム費補助金

市では、地球温暖化対策の一環として、二酸化炭素排出量の削減のため、新エネルギー・省エネルギー機器の設置費及び省エネリフォーム費に対して、補助金を交付しています。市内に居住、または、居住予定の住宅で、市税を完納し、以下のいずれかに該当する方が補助対象者です。

- ①既存住宅に、補助対象機器を設置する予定の方。
- ②新築住宅に、補助対象機器を設置する予定の方。
- ③補助対象機器設置済みの建売住宅を購入する予定の方。
- ④既存住宅において対象リフォームを実施する予定の方。
- ⑤中古住宅対象リフォームを実施する予定の方。



ぬまづ環境市民大学に参加してみませんか？



「ぬまづ環境市民大学」は市内の自然環境や環境保全の取り組みについて、専門家による講義やフィールドワークなど、環境への関心を深める環境講座です。平成29年度は、江戸時代初期、水不足に苦しんだ香貫地区への引水のため植田内膳が完成させた「内膳堀」について、環境保全に着目した講座を開催しました。また、今年度2回目は、「地球温暖化」や「海洋ごみ」といった人間活動による環境問題が生態系に与える影響についての講座を開催します。

夏休み親子水生生物観察会



川にすむ生き物を簡単な道具を使って採集し、その種類を調べることで、水質(水のごよれの程度)を判定します。30種の水生生物が指標生物として選ばれており、川にすむそれらの種類と数から水質の程度を判定します。

今年度は平成29年7月28日に清水町と合同で黄瀬川橋下流で開催し、44名の参加がありました。水質階級Ⅰから水質階級Ⅳまでの指標生物が幅広く採取され、結果として黄瀬川は水質階級Ⅱ「ややきれいな水」と判定されました。

地域のエコの旗振り役！沼津市地域エコリーダー



沼津市内28地区から1名ずつ選出され、市長から委嘱された沼津市地域エコリーダーは、緑のカーテンの普及、環境教室の開催、ぬまづエコ活動コンテストの審査・投票など、地域のエコ活動を推進し、次世代に豊かな自然環境を残すための活動をしています。

省エネ推進ネットワークぬまづ



省エネ推進ネットワークぬまづは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の削減に向けた省エネ活動を推進するため、市民、事業者、行政が協働した地球温暖化対策地域協議会として、平成17年6月に発足しました。

緑のカーテンやエコドライブの普及・促進、行政の主催する事業への積極的なサポートの他、市内の各種イベントへのブース出展等により市内における省エネ行動の啓発などを行っています。

それらの活動が認められ、全国の市民・企業・自治体などが取り組む地球温暖化防止のための活動が表彰される「低炭素杯 2016」では、「ファイナリスト賞」を受賞しました。

平成29年度からは、新たに小学生への環境教育に取り組み、子どもから大人まで幅広い年齢層へ省エネ行動の拡大を図っています。

気になる取り組みは、環境政策課までお問い合わせください。(055-934-4741)

足もとかから始めてみよう

環境のために
でもこと、
ーっといつの
積み重ね

そんな時は「ちらり」と
「沼津市の環境行政をもっと知りたい」
「わたしも参加できるイベントは？」

ぬまづエココツ (ECO-CO2) アクション



エコ活動への第一歩！
環境にもおサイフにもやさしい
「エコのコツ」を、チェックシートを
使って実践しよう！

右ページをコピーして
ぜひチャレンジしよう！
ホームページには、他にも
いろいろな種類のシートがあるよ！

「いいね！」からはじめるエコ活動

facebook 「エコのまちぬまづ」
URL <https://www.facebook.com/econumazu>



沼津市の環境施策を発信中！

沼津市ホームページ
「環境～エコのまち沼津を目指して～」

URL <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/sumai/kankyo/index.htm>



「沼津市トップページ」▶「市民のみなさんへ」▶「住まい・環境・ペット」▶「環境」
とお進みください。



総合版・冬

のエコアクション！

目標

- ①名前をかいて、目標を決めよう！
- ②7日間チャレンジしよう！
- ③毎日OかXを書こう！
- ④最後にOの合計を記入しよう！

- エアコン暖房時の室温は20℃を目安に設定しよう
- 使っていない部屋の照明は消そう
- 使っていない電化製品の電源プラグを抜くか、電源タップをOFFにしよう
- ゴミは、ほうきで1か所に集めてから掃除機を使おう
- シャワーは流したままにせず、不用時は止めよう
- 冷蔵庫は無駄に開け閉めせず、あけたときは早めに閉めよう
- 食器を洗うときは、すすぐ時だけお湯を流そう
- 炊飯器での長時間保温はやめて電源を切ろう
- 自動車で発進時は、5秒で20km程度でゆっくりスタートしよう
- 短距離の移動は、自動車をつかわず徒歩か自転車移動しよう

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	合計	1年で減らせる 光熱費(目安)	1年で減らせるCO2
O	O	X	X	X	X	O	5	約1,380円	28.13kg
								約520円	10.45kg
								約1,470円	29.99kg
								約800円	16.25kg
								約2,600円	29.20kg
								約480円	9.86kg
								約4,540円	14.20kg
								約760円	15.48kg
								約11,470円	182.07kg
								約9,200円	145.99kg